

かもまるくん
ですっ。

加賀市標章



相談状況(12月は6日現在の集計)

	来室相談	訪問相談	電話相談	合計	通室生徒
10月	15	6	1	22	0
11月	17	10	1	28	0
12月	3	0	0	3	0

今年も残すところ二十日あまりとなりました。皆さんにとって、今年はどうな一年だったでしょうか？やすらぎ加賀教室には、新しい生徒さんが時々訪ねてくれて、色々な活動が出来ました。

来年は、今年のような災害の無い、穏やかな日々が続くよう願ってやみません。

SC土田先生(心理カウンセラー)の相談日

12月 13日午後、 (全て金曜日)

1月 - 17日午前、31日午後、

2月14日午前、 3月6日午前

時間 午前：9:30～11:30

午後：4時～6時



SSW星野先生(社会福祉士)の相談日

12月20日 1月17日

2月 - 7日、21日 3月6日

時間 午後2時～5時 (全て金曜日)

今年もクリスマスが近づくと、待っていたように咲き始めた『ホワイトベル』です



第3回 事例検討会を行いました

11月29日(金) 15:30～16:50 加賀市教育総合支援センター

今年度第3回の検討会は、講師に金沢大学の原田克巳准教授を迎え、加賀市内の高校・特別支援学校、関係諸機関等から17名の参加を得て開催されました。

今回はいつものPCAGIP法ではなく、座談会形式に変え、テーマは「学校不適応生徒について」としました。

参加者からは、「高校に入ったら登校できるようになった」「複数で同じ学校に進学したら、同じ境遇から互いの不足している学習面を補い合っている」「『夢がある』と言う生徒の思いを大切にすべきだ。ある例では意志を尊重して進路変更をした。」「言葉を交わし合う関係性が大切、SCに初めて自分のことを語るようになった」「親が学校に行かなくていいと言いつつ、“行って欲しい感”がにじみ出ているのは、ダブルバインディングで良くない」「登校できるようになった生徒は、『なぜ登校できなかったのか、なぜ登校できるようになったのか、自分でも分からない』と言っていた」「他にあるかも知れないけれど、今、目の前にあって、今できる最善のことを考える」など、色々な話が出ました。

講師からは、「ネガティブ思考の人は不安を呼び込むタイプ。でも、人生何が起るか分からない。良いことと悪いことが起こる確率は半々。」「今までに自分が躓いたこと、傷ついたことを考えると、不登校の生徒達とつながれることがあるので、それを言葉で伝え、分け与えて欲しい。」との助言を頂きました。



*のぞみ教室の研修室には近く開催されるクリスマス会に向けて飾りつけがされており、華やいだ雰囲気の中で会は進みました。

10~11月の活動

サツマイモの収穫 →



蔓でリース作り ▶ お菓子も作りました！



ピーナッツも一杯収穫！！



クリスマスに向けて
タペストリーや
リースを制作
しました！



加賀フレンドシップ

今年も、金沢大学原田ゼミの学生7名が、市内小中高校とのぞみ教室での児童生徒達の支援のお手伝いに来てくれました。10月4日に初顔合わせがあり、来年2月にかけて、約10回それぞれの学校や教室を訪れてくれます。



話を聞いてもらったり、一緒に学習や通して、どの学生も積極的に児童生徒と児童生徒達も、学生と接することを楽



運動・調理実習をしたりと、いろいろな活動をの関係づくりに取り組んでいます。しみにしてくれている様です。

アッキーのつぶやき

やすらぎ加賀教室スーパーバイザー
心理カウンセラー 土田晶子先生



長い間、微力ながらカウンセリングをさせて頂いております。昔も今も悩む事柄は違って結局のところ突き詰めれば「対人関係」に行きついてきます。対人関係は、人が生きていくためには避けて通れないところでもあるのです。昔は大勢の家族や仲間や地域で自然に身に付けてきたことが多いのですが、現代は、それがとても難しくなっているようです。ではどうしたら良いのでしょうか。例えば、キャッチボールを習うように、せめて一人一人が意識して「対人関係」をスキルとして磨いていくことで少しでも円滑に生きていくことに繋がるのではないかと考える今日この頃です。

